OSS分散ベクトル検索エンジンValdと最新の取り組み

Vald: Cloud Native Distributed Vector Database LINEヤフー株式会社 Matts 966



資料URL



自己紹介

松井誠泰(GitHub: Matts966)

- LINEヤフー、OSSのベクトルデータベースValdチームに転職して半年
- 趣味



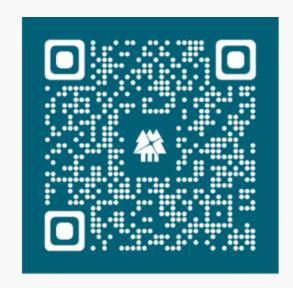
• github.com/Matts966

お品書き

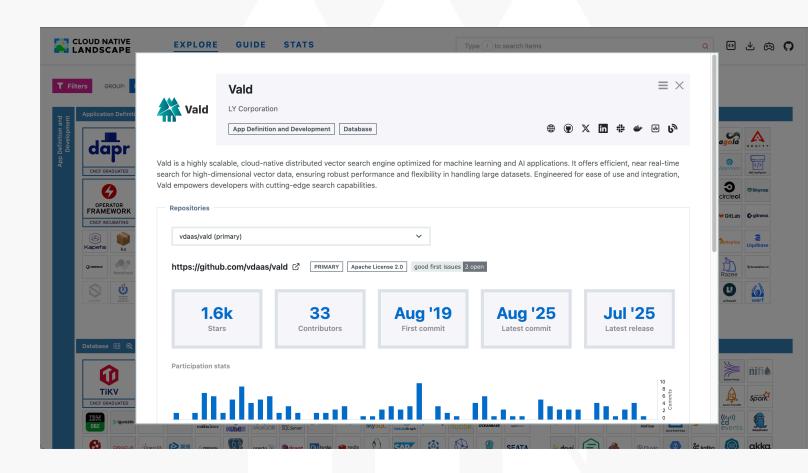
- Valdのご紹介
- 最新の取り組み
 - 。 Grafana Foundation SDKを用いたGrafana Dashboard as Code
 - E2E V2: YAMLで宣言的にテストシナリオを記述
- ベクトルDB選定のすすめ

Valdのご紹介

- クラウドネイティブな分 散近似近傍ベクトルDB
- オープンソース
- CNCF Landscape



vald.vdaas.org

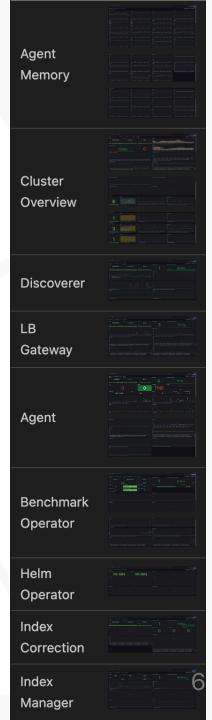


最新の取り組み

- 1. Grafana Foundation SDKを用いたGrafana Dashboard as Code
- 2. E2E V2: YAMLで宣言的にテストシナリオを記述

Grafanaボード管理の課題

- コンポーネント毎にボード・パネルをたくさん管理
 - コンポーネントがかなり違うものの共通化の余地あり
 - 繰り返し、条件分岐したい
 - パネル毎にアップグレード作業
- JSONでバージョン管理はしていたものの
 - 。シンプルなパネルでもGUIからexportされたJSONは大きくなってしまい、直接読み書きするのが難しい



grafana-foundation-sdk の概要

- Grafana公式が提供する言語ごとのSDK
- GrafanaのAPIスキーマをベースに自動生成されている
- Go, TypeScript, Python, Java に対応

選定理由・メリット

- 繰り返しを簡単に表現できる
 - 。同じようなダッシュボードをコンポーネントごとにつくっている場合などに、関 数等で整理しやすい
- メトリクスを管理しているコードと同じ言語で書くことで、メトリクス名を参照でき、二重管理を避けられる
 - メトリクスの宣言→ダッシュボード作成まで自動化可能

メリット

- メソッドチェーンで書けるので、補完に沿って書ける
- テキストなのでLLMの力を借りやすい
- GUIから出力できるJSONからGoへの自動変換が可能

```
builder.
| WithPanel() |
| stat.NewPanelBuilder(). |
| Title(title). |
| WithTarget(prometheusQuery( | addBasicLabel(promql.Vector(config.BenchmarkOperatorInfo)).String(), |
| ).Format("table")). |
| ReduceOptions(common.NewReduceDataOptionsBuilder().Calcs([]string{"lastNotNull"}).Fields (field)). |
| Span(width).Height(heightShort), |
| ]
```

メリット

- 簡単にバージョンアップグレード
 - 。 公式がAPIスキーマから自動生成しているので
 - go get でタグを切り替えるだけで簡単に最新に追従できる
 - 網羅性が高い

go get github.com/grafana/grafana-foundation-sdk/go@v11.6.x+cog-v0.0.x

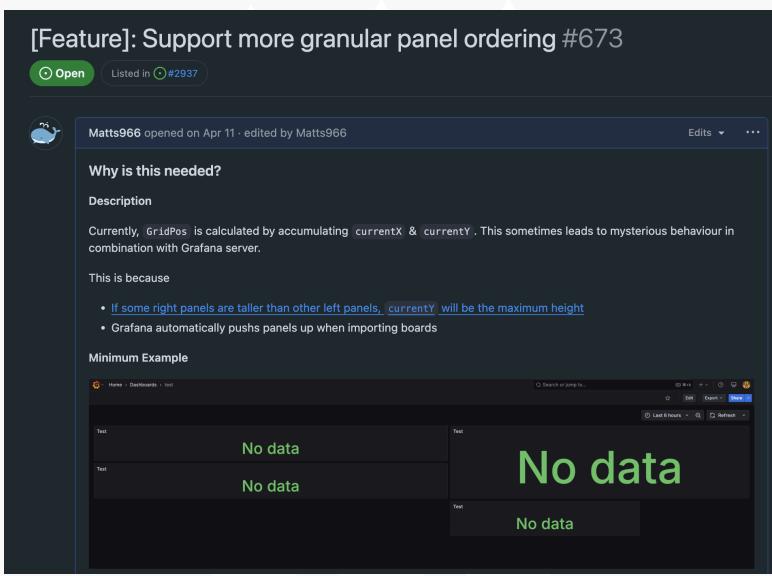
メリット

• 公式から promql もビルダーが提供されていて、複雑な文字列、括弧の対応の管理を 避けられる

```
promql.Sum(promql.Irate(
   promql.Vector(cpuMetric).
   Range(intervalVariable),
)).By([]string{"pod"}).String()
```

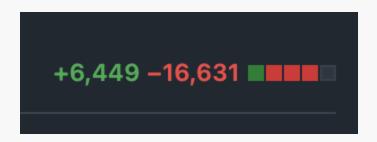
注意点

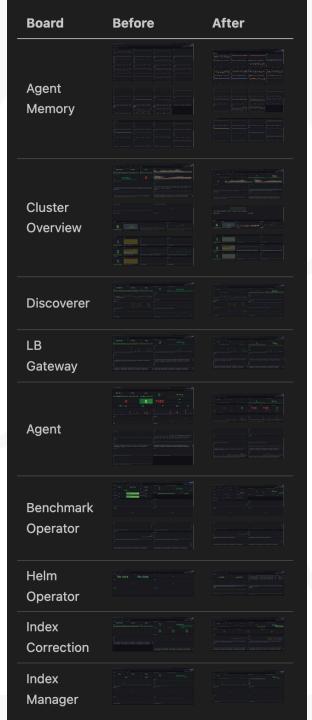
- grafana/grafanafoundation-sdk#673
 - パネル配置にバグが あるため
 - 行や列の位置がズレるなど
 - 自分で整理するコードを書く必要あり
- 現状 puzzle.go としてVald レポジトリで公開



結果

- github.com/vdaas/vald/pull /2937
- コード量を1万行近く削減
- ほぼ同じボードを再現







最新の取り組み

- 1. Grafana Foundation SDKを用いたGrafana Dashboard as Code
- 2. E2E V2: YAMLで宣言的にテストシナリオを記述

E2Eの悩み

- CRUDの処理がたくさんあるが、コードで書いていると冗長になりがち
- 違うコードベースに同じようなコードが散らばる
- データを取り出してアサートする流れも煩雑になりがち

E2E V2: YAMLで宣言的にテストシナリオを記述

- 得られた成果
 - 。 ジェネリクスを用いた汎用k8s, gRPCクライアント
 - 。 別環境でもYAMLをもとにk8s JobでE2Eが走る
 - 。 パスで結果を取り出し、アサートできる
 - 。 並列実行・Loop処理を用いた負荷試験
- Future Work
 - PBT: Property Based Testing

```
- name: Insert
  type: insert
  mode: unary
  parallelism: 10
  num: 60000
  qps: 3000
  wait: 5s
- mode: unary
  name: CreateIndex
  type: create_index
  expect:
    - status_code: ok
- mode: unary
  name: IndexInfo
  type: index_info
  expect:
    - status_code: ok
      path: $.stored
      op: gt
```

value: 30000

ベクトルDB選定のすすめ

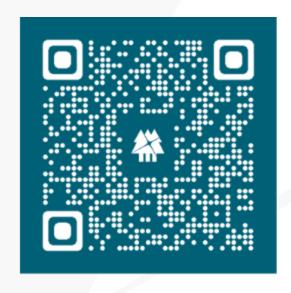
- CNCFにはハイブリッドサーチをサポートするOpenSearchもあり、検索用途で 👆
- 推薦・検出などベクトル検索だけ必要で、パフォーマンス重視の方にはValdは

検索手法	エンジン	90 %ile (ms)	99 %ile (ms)	MRR
全文検索	OpenSearch	10.42	23.79	0.605
ハイブリッドサーチ	OpenSearch	21.56	28.823	0.661
ベクトル検索	OpenSearch	9.60	11.87	0.619
ベクトル検索	Vald	1.93	2.363	0.615

検索エンジン選定ガイド:ベクトル検索・全文検索からハイブリッドサーチまで

LINEヤフー Tech Blog

Contributions are Welcome!



vald.vdaas.org